

全く薬とはいえない砂糖を丸めて薬の錠剤のように仕上げた偽薬を高血圧の人に「血圧が良く下がる薬だ」と思いこませて飲んでもらうと、実際に血圧が下がることがある。おそらく心理的な作用と思われるが、このような偽薬でも血圧が下がる効果の事をプラセボ効果と言っている。薬を市販する場合、このプラセボ効果が入るといけないので、現在では厳密に試験が行われている(二重盲検法)。これは日本の諺にある「いわけ

頭も信心から」を思い起こすと分かりやすい。疲れたときに、栄養ドリンクを飲むと元気が出てきたような気になるのも、その中に含まれているカフェインやアルコールに加えて、このプラセボ効果が働いているのかもしれない。すなわち、薬は効くと思っただけ効果が増えるし、また副作用のことを思っただけ副作用が出やすくなるものがある。一方、インフォームド・コンセントが最近重要視されている。手術を例に取

ば、患者様に十分な情報を与え、手術の危険性やメリットを説明し、患者様の同意を得てこれを行うことを言う。医療人としてはこれは当たり前と言えは当たり前のことではあるし、また大変重要なコミュニケーションだと思われる。さて、薬に対してもインフォームド・コンセントが重要である。今日では薬効と共に、

薬の副作用についても患者様への説明が義務づけられている。また先に述べたように、上手くプラセボ効果を引き出すことは、病気を治すことからも大切だと考えられる。すなわち、十分なインフォームド・コンセントを行いながらプラセボ効果を引き出すこと、これが我々医療人の努めだと思ふのだが、如何だろうか。

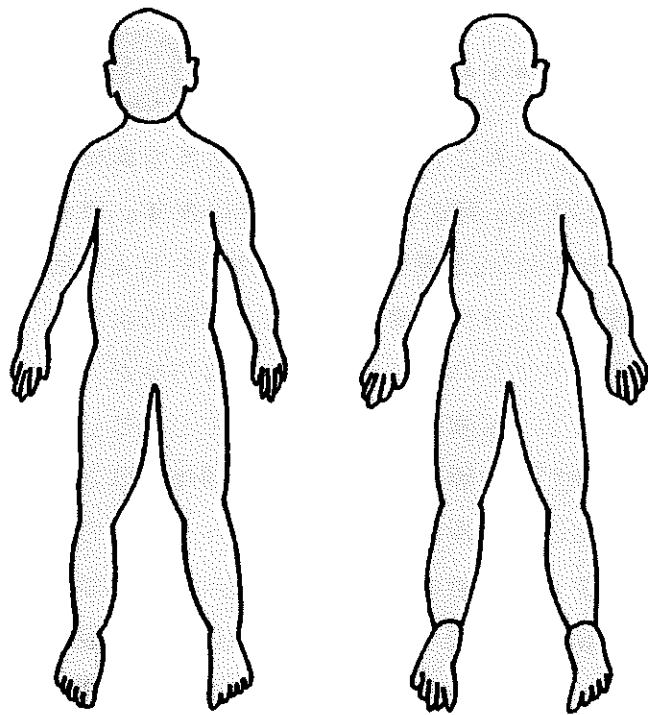
## プラセボ効果と インフォームド・コンセント

理事長 行岡正雄



ゆきおかニュース

院園部  
4号  
岡病  
行岡  
行岡  
北区  
TEL371-9921



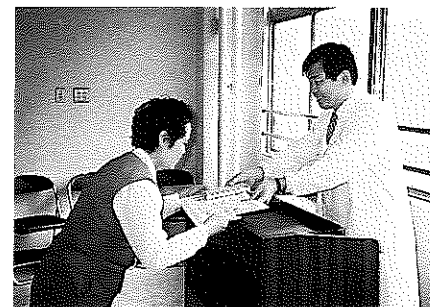
## デイ・ケア

昨年10月9日、デイ・ケア室において患者様と病院スタッフとの間の交流会が行われました。この会は介護を要する患者様にとって不都合な点などを話し合い、スタッフとの交流を深めていくためのもので、当日は13名の患者様が出席しました。その中で出された数多くの意見のうち、特に目立ったものとして「家庭や職場における介護が困難」「院内に老人保健施設の建設を」という意見が挙げられ、お互いの立場の理解のために会場内は真剣そのものでした。その後引き続き、

タレントの青野敏行さんによるトークショーが開かれ、交流会とは違った和やかな雰囲気会場内を包み、参加者は笑い声が響き合う大変盛り上がったひとときを過ごしました。



## 永年勤続者表彰式が行われました



2月18日(水)、当院第一会議室において5年(女性)・10年・15年・20年勤続者を称える表彰式が行われました。理事長のご挨拶の後、表彰者を代表して近藤悦子さん(医事課・20年勤務)が表彰状を受け取り、引き続いて代表謝辞として、当院とともに歩んだ20年を振り返る言葉を述べました。

### 「ホームヘルパー養成講座を開講」

高齢者の増大に伴い、また老人デイケアサービス、特別養護老人施設などの各種施設や高齢者を抱えられるご家庭で介護者を熱望される状況で、学園・病院として地域社会に協力、貢献します。

行岡保健衛生学園 総務課 上野乃武弥



**慰霊祭**  
3月4日(水)  
102名の尊き生命が失われました。  
遺族様におかれましては、ここに謹んで哀悼の意を表します。

## 編集後記

4月に入ってちょうど今ごろ、年明けのバーゲンで買った、まだ一度も着ていない服を見つけて、「無駄な買い物だった」と後悔することはありませんか？院内にもそのような無駄と思われる物品が眠っているかもしれません。いつ使われるか分からない、そういったあいまいな在庫を掘り起こし、資源を有効に使うという気運が今、高まっています。次回以降も、在庫管理委員会からの報告をお送りしますので、皆様からの御意見・御要望をお待ちしております。

# 行岡保健衛生学園創立65周年記念の年にあたって

行岡保健衛生学園副校長 松下尚司

昭和8年10月、当学園は北区浮田町のまさしくこの地に創設者・行岡忠雄先生によって現在の行岡学園の礎となった大阪接骨学校が開校しました。本邦では初の正規の教育機関でした。以来65年間に9科を擁する日本でも類をみない広範囲にわたるパラメディカルの専門学校として地位を揺るぎないものとしてきました。第2次世界大戦中、また戦後の筆舌につくしがたい困難な中を先生は、50年先を見通す慧眼をもって医療技術教育の啓蒙に当たられました。創立記念式典では、先生ご夫妻の見事な肖像画が披露され、あまりにも写実的なので今にも「元気か？仕事ちゃんとやっているか？」といつも身がすくむ

思いのお声が飛んで来そうな錯覚を覚えたくらいでありました。

行岡正雄理事長の「21世紀へ、この困難な時期にこそ創設者の遺訓を引き継ぎ、更なる学園の発展の原動力となし得たい」とのお言葉を職員一同かみしめて盛会裏に式典を終えました。



## 在庫管理委員会からのお知らせ

### もっと減らせる！もっと利用できる！

御協力ありがとうございます。

私達在庫管理委員会は昨年の十二月より無駄をなくそう、資源を大切に云う目的で下記の事に取り組んで来ました。その間さまざまな意見やアイデアが寄せられました。その結果報告とあわせいくつかを紹介致します。

- 用度定数ノートの作成
- ポリ手袋使用の徹底
- ディスポ注射器を洗浄して、マーゲン吸引用に使用
- グローブ及び綿角など必要以上の使用はしないようにしている。

用度係 高木剛

### その他

委員活動を通して感じたことは、現場での在庫管理の必要性について認識し、意識改革することにより看護の視点が変化してきたことである。そして物を大切にするという認識を各自が持つことにより、看護とは物質では与えられない真心のある医療だと気づく。この気づきを大切にますます真心の医療が提供できるよう積極的に取り組んでいきたい。

手術室 芝岡恵利

一人一人の力がやがて大きな変化につながる事と思います

## （歯科口腔外科の近況と最近の歯科医療を取り巻く状況について）

歯科口腔外科 島田惣四郎

治療をするのが日常の状況であります。私は大阪府歯科医師会の歯科医事処理（医療過誤・医事紛争で医師と患者の両方の訴えを解決する業務）を担当しておりますが、その中でも有病者患者の歯科治療による紛争が数多く、また歯科においては先進医療と言われている「インプラント」（歯槽に金属を挿入してその上に義歯を作ること）を行う上で生じる障害によって医師と患者の間に深刻な問題が起こっているという事例を多く見受けられます。

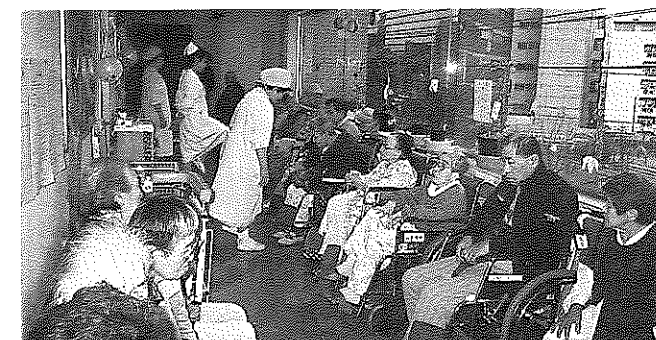
現代の歯科医療は日進月歩の如く高度化しておりますが、我々は時代に遅れることなく、インフォームド・コンセントを充分に行って、患者の理解を得て診療に励むよう頑張っております。有病者・高齢者の診療ということもあり、病院他科の先生方、スタッフの皆様方にも大変お世話になっており、誌上を借りて厚く御礼申し上げます。最後になりましたが、歯科口腔外科一同、一生懸命頑張りますので、皆様方の御支援のほどよろしくお願い申し上げます。

## 病棟紹介

東4病棟 足立佳代

が重要視されます。それらのことを踏まえて一人でも多くの患者様が老人ホームや他の施設ではなく、家族と共に楽しく生きがいのある老後が送れることを願って介護していかなければならないと考えています。

“自分に厳しく、患者様にやさしく”をモットーに頑張っている東4病棟のご理解と応援のほどよろしくお願いいたします。



東4病棟が白木Drを中心とした療養型病棟として始動して6ヶ月になろうとしています。患者様の平均年齢は77歳前後で、その中でも老人性痴呆、脳梗塞による片麻痺・失語症、高齢による身体機能低下等でリハビリを必要とする方々が入院されています。業務内容も当然介護中心となり、急性期病棟だった頃のような業務の煩雑さはなくなりました。その反面、ケアプランなど手間のかかる作業や、障害者になると家族にもなかなか受け入れて頂けず、ゴールの見えない患者様も数多くいらっしゃいます。またリスクの高い患者様、回復期の患者様をお預かりして、助手との当直制でやって行けるのかなど、看護婦の苦悩も多々あります。が、近い将来、超高齢化社会となり介護保険制度が導入されるとますます介護の内容・質